

令和５年度第１回山口県高齢者医療懇話会（会議録）

{	日時	令和５年１０月１２日（木）
		午後１時３０分～午後３時００分
	場所	山口県後期高齢者医療広域連合大会議室 (山口県自治会館４階)

【出席者】

出席委員：田中委員（会長）、河村委員、浜田委員、茨木委員、越智委員、
藤谷委員、田畑委員、戸梶委員、中田委員

広域連合事務局：大野事務局長、末永事務局次長、重中業務課長、磯田総務課長補佐、
岩下業務課長補佐、津田業務課長補佐 吉田総務係長、広林資格・
保険料係長、杉原保健事業推進係長、山田医療給付係長、桐山主任、
田原主任主事

欠席委員：平田委員、伊藤委員、山野委員

１ 開会・事務局長挨拶

本日は皆様ご多忙の中、ご出席をいただきありがとうございます。

皆様には、平素から、広域連合の取組にご理解・ご支援いただき、この場を借りて、
厚くお礼を申し上げます。

後期高齢者医療制度は高齢者の皆様が、安心して医療を受けられるよう国民全体で支えあう保健制度でありまして、平成２０年４月に発足し、本年度で１６年目を迎えます。発足時に２１万人であった本県の被保険者は２５万人に増加しており、また昨年度から団塊の世代が被保険者になり始めたことから、２年後の令和７年度には被保険者数が２８万人に達する見込みです。こうした中で山口県の高齢者医療費の総額は平成２０年の２,０１９億円から昨年度は２,５６６億円へと大幅に増加し、また今後医療費の一層の増加が見込まれる中で医療費制度を取り巻く状況は厳しい状況となっております。

こうした中、今年５月には年齢に関わりなく、すべての国民がその能力に応じて負担し、支えあう社会の構築を理念とする全世代社会保障法が成立し、後期高齢者医療も全世代で公平に支え合うための制度見直しが実施・予定されております。広域連合といたしましては、制度改革に的確に対応し、被保険者の皆様が安心して適切な医療を受けられるよう、今後一層健全かつ円滑な制度の運営に努めてきてまいりたいと考えております。

本懇話会では、医療費等の状況、制度の改革、保険事業の一体的実施について、ご説

明をさせていただきます。委員の皆さまには忌憚のないご意見をいただきますよう、お願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 テーマ

- | | |
|----------------------------|-------|
| (1) 令和4年度の後期高齢者医療費等の状況について | [資料1] |
| (2) 後期高齢者医療制度の最近の動向について | [資料2] |
| (3) 高齢者の保健事業について | [資料3] |

〈質疑応答・意見交換〉

＜事務局からテーマ1を説明＞

- 【委員】和木町は1件当たりの入院の日数が山口の中でも1番大きい。医療費が高くなっているような背景があるのでしょうか。
- 【事務局】和木町は、町内では入院可能な病院は数が限られる一方で、岩国市あるいは県境を越えて広島県にアクセスできるため、そちらの病院での入院日数が長くなっていることが一因と考えられます。
- 【委員】一人当たりの医療費の伸びについて、上関町が平成25年度からの伸びが7.5%ほど減っているものの、保険料が40%以上も伸びているのは、どのような要因によるもののでしょうか。
- 【事務局】詳細な状況は分かりかねますが、これまで実施されていた保険料軽減対策が廃止され、本則に戻ったことから、これまでその対象となっていた方々の保険料が上がったということが大きな一因と考えられます。

＜事務局からテーマ2を説明＞

- 【委員】協会けんぽにおいても、国からの要請で来年の秋に向けてさらにマイナンバーカードに関する勧奨を行うなどの対応をしていきたいと考えています。
- 【委員】現場からは、マイナンバーカードを使うことで楽になると聞いているが、むしろ作業負担が増している状況です。また、介護現場の方からは、マイナンバーカードの再発行は、本人でしかできないことが多く、時間もかかってしまい、とても困るといった声があります。来年度以降は国において業務の改善されるよう、今後も注視をしていきたい。
- 【会長】再交付の手続が緩和されれば、逆にマイナンバーカードのセキュリティ上の問題が起こる等、誰が申請できるかをはじめとして、手続には限界があります。広域連合も含め国が様々なことを考えながら準備されている段階だと思いますので、次回の懇親会までにしっかりとの方針が決まっていれば、会員の皆様にお伝えいただければと思います。

＜事務局からテーマ３を説明＞

【委員】歯科健康診査・お口の健康診断は、非常に良い取り組みであり、もっと受診率が上がると良いと考えています。歯科医師会と連携されていると思うのですが、今後の計画や全国と比べてどのような状況か分かれば教えていただきたい。

【事務局】まず、全国の情報とは公開されておらず、比較はできかねます。歯科健康診査の受診率の上昇は、当広域連合でも課題としており、県医師会をはじめ関係機関に協力依頼をさせていただくとともに、制度の周知についてもさらに進めて参りたいと考えています。

【委員】一体的実施事業について、来年度以降実施する５市町は県南東部に集中しているが、何か要因がありますか。

【事務局】特有の理由はないと考えています。専門職の絶対数不足は、この地域も含め全国的な課題です。

【委員】特に保健師や看護師が足りていない状況であり、日本看護協会でも保健師の確保に向けたという事業を急遽実施している。県内では、東部と萩地域での確保が難しく、一体的実施はとても良い事業なのですが、人材の確保というところが大きな課題なのだと感じている。

【委員】協会けんぽにおいても、保健師を７名雇用しているが、東部地区の保健師が足りないということで、募集をかけていますがなかなか来ないという状況である。

３ 閉会

会長より閉会を宣言